

の日であらう。又、季節柄、雪の日でもあらう。そんな時、この點の注意は、幼児を受けこる保姆さんの、何より第一の注意である筈である。たゞし、幼児の方にもよく訓練して置いて、保姆さんがみんなにうつかりしてゐる時でも、幼児の方から、先生、こんなに濡れたの、このまゝでは衛生上悪いのねと言はせるやうになつてゐたら、最も便利である。

### 第二週

前にも度々片づけたこごがあると思ふから、こごでは、あらまた散らかしたのこいふだけに止めて置く。

### 第三週

通園上の注意として、電車内の作法が擧げてあるが、これは社會作法訓練に屬するこごで、年長組には是非要求したいこごである。たゞ、園外のこごで、先生としては、懇

懇として申し聞かせるだけで、自ら直接訓練するこごの出来ないのが物足りないが、日本人の一大缺點が、社會的作法だこいふこごは、外國人よりも日本人としてよく氣がついてゐるこごで、之れは早くから、いゝ習慣をつけて置く必要がある。或は、誘導保育の一主題として、交通、汽車、電車、こいつたものをこり來つて、その期待効果の一つの中へ、社會作法こいふこごを置くのもいゝこごであらう。

### 第四週

前にも言つたこごのある通り、之れは是非つきたい習慣である。家庭よく打合はせて置いて。——幼児の生活訓練が幼稚園だけいくら心配しても、家庭に協力出来ないこご決してうまくいかないのは、敢て、手を洗はせ、うがひをさせるこごだけには限らない。

## 誘導保育

### 第一週

### 動物園

大型の木の箱を利用しての動物園は、本来ならば戸外のものであらう。向ふの木立の下に、又はこちらの隅の平地に、キリンや小山羊を置いてみ考へて、その様子を目に浮べるこゝ、たまたまなくいゝものになる。併し、實際は、風雨に曝されても變色しない塗料で價格も低廉で言ふものもないし、云つて毎日大勢の動物を出し入れするのも容易な事でなし、そんなわけで遂、これも室内になつてしまつたわけだ。併し、お天氣のいゝ日等、時折外へ運び出して、思ふさま子供達にいじらせるのは誠に結構で、是非やつて欲しいと思ふ。

子供達が、今迄一度も木の箱を利用した動物を見た事が無いならば、先づ先生が見本に、キリンでも熊でもいいゝから一匹拵へる。そして、こゝにいふ動物を澤山拵へて、動物園を作りませうね、といへば、その一言でも子供達の心の中には活々とした動機性が醸し出される。

箱は蜜柑箱でも石油箱でも釘樽でも何でもよい。澤山に集める。塗料は、今のところ凡ての點から考へて、まあカセインが無難であらうか。

この仕事の期待効果は、效果欄にある通り、第一はおほまかな力の仕事を主體とする共同製作言ふことである。動物一つ持ち運びするにも全身の力をこめなければならぬのもある位で、子供等の身體には大變にいゝと思ふ。丁度、箱積木を持つて遊ぶのと同じ様に思ふ。釘の打ちつけ、鋸の仕事、皆汗はむ程の力がある。第二には、動物愛護の精神涵養、次は社會的生活興味、木工、觀察等が擧げられる。

繼續作業時間は、九週間

この案の實施に當つては觀察用として動物繪本が常に子供達の左右にそなへられてなければならぬ。

今週の仕事は

小鳥の小屋

何か小さい箱を土臺としてそれに小鳥の小屋らしい屋根をつけてもよいし、又こんな小形のものゝは初めから板で組み合せても容易に出来る。入口を可愛いらしいのに作る。

小鳥の巢

藁等で巢らしく作る。

小鳥

少し分厚の板に小鳥の繪を子供の手で描いて貰ひ、之を鋸ミシンで切つてやつて色を塗らせる。

#### 小鳥の卵

粘土で丸く作り、乾いたら白のエナメル又はカセイン等で塗る。

### 第二週

#### 兎

小箱を胴に利用する。耳のついてる頭部を、やはり分厚の板に描いて貰つて、大人が之を鋸ミシンで切つてやる。少し太目の棒を頸にして、之にこの頭部をつけ、之を前的小箱の胴體に打ちつける。足は、板に兎の足の繪を描き、切り抜いて、胴體につける。白のカセインで塗る。目や耳のすじ等を赤くする。

#### 小豚

胴體に蜜柑箱利用、顔を前の兎の時の様にして分厚の板に描き、鋸ミシンで切り抜き、棒の頸につける。之を胴體につける。全體を真白でなく少し桃色味を帯びた色に塗る。

これには、足を割に細く、尻尾は細く、くりつミ巻いたも

のをつける感じがよく出る。足は箱の奥の方からつける。さしつかりして丈夫である。

#### 小山羊

サイダー箱を利用。頭も前同様にして造る。全體を白く塗る。

### 第三週

#### 猿

板に猿の全體の姿を描いて切り抜いてもよし、又小箱に前の様に頭部をつけてもよし。猿らしく、全體を茶色に、顔を赤く、色を塗る。

#### 猿の止り木(枯木利用)

大ぶりの枯木を探して來た。シーズンから言へば、之はこのまゝ土臺の方を立つ様に工風して猿の止り木としていいわけであるが、それでもあまり藝が無い云ふので、全體の知れない常緑樹にしてしまつて、葉をつけたり、實をつけたりした事であつた。

#### 猿の腰掛け臺

止り木の何處かに、猿の腰掛臺をつくつて、こゝに猿を

置く。

## 縞馬

林檎箱利用、頭部は前ミ同様にしてつける。全體を白く

塗り、後乾いたら墨で縞をつける。

## 唱歌遊戯

### 第一週

#### 唱歌 三回

兵隊(びやうたい) (童謡唱歌名曲全集)

歌詞が三番まであつて、少し複雑で六ヶ敷い様にも思はれるが、この歌は既にレコードでおなじみになつてゐるので、割合に取扱ひ易い。

#### 遊戯 二回

今までに習つたものゝおさらひ。

### 第二週

#### 唱歌 二回

押しくらまんじゆう(佐々木すぐる曲集)

元氣よく歌ふ事。最初の音が高いので、少し聲が出しに

くいかみ思つたが、全體の調子がよいので、子供たちは喜んで歌ふ。

#### 遊戯 三回

押しくらまんじゆう(土川五郎氏振)

きびくした動作で、大變氣持がよい。男の兒は殊に喜ぶ。この遊戯をする時は、意氣地無しは一人もゐなくなつて、大變な元氣を出すのも面白いことだ。

#### 足ぶみ(記事参照)

手拍子、足拍子はこうするのだと云ふ一定の型を教へないで、リーダーになつた子供たちにそれぐ工夫させる所に面白味があり、又それを真似してみんながする所にも興味がある。順々にお友達を呼んで行つて、みんなで楽しみながら続ける事が出来る。